

大用小学校の「特色ある取組」について

学力向上策・授業改善

●授業

研究主題

「確かな学力を身につけ、ともに学び合う子の育成」

児童の学力の実態から、4年間続けてきた「算数科」の研究を、令和3年度から「国語科」に変更して取り組んできました。今年度は2年目となります。授業では、次の3点を特に大切にしながら取り組んでいます。

- ①今日の問題を解くために前に学習したことが活かさないかと考えながら課題に取り組ませること
- ②子ども同士が意見を交換し合う中で答えを見つけていけるようにすること
- ③家庭学習（特に予習）を授業の中で活かす場面をつくること

●授業以外で

基礎の定着として、毎日10分間の帯タイム（月・火・水：国語 木・金：算数）を実施しています。プリントやドリル等が中心です。

期間を決めて、全教員が上級生の放課後加力学習に取り組めます。学力テスト等の過去問題、高知県作成の算数シート・国語シート、西部教育事務所作成のダントツシート等を使いながら、児童の苦手分野の克服や得意分野の伸長を目指しています。

学校として力を入れていること

●ふるさと教育

研究主題

「ふるさとに学び、ふるさととともに学ぶ学校づくり～地域をよく知り、地域の良さを発見し、地域から学ぶ～」
ふるさと教育の取組も本年度で6年目となります。これまで学習してきたことを活かしながら、本年度は、自分たちの地域の自然や歴史を調べることを通して、地域の自然の豊かさや先人達が築いてきたものの素晴らしさを感じさせ、ふるさとを愛する心がより育まれるように総合的な学習の時間等を中心に取り組んでいます。



地域の方を招いての授業



酒米の田植え



水辺の楽校

横断幕に込めた思い



令和3年6月7日 横断幕設置

大用小学校 学校教育目標「笑顔・元気・意欲」

「笑顔」は人も自分も「元気」にします。「元気」になれば、「意欲」も湧いてきます。「笑顔・元気・意欲」は、別々のものではなく実はつながっています。本校が目指すものを的確にシンプルに表した学校教育目標です。この目標のもと、全教職員が心をひとつにして取り組んでいます。

～子どもたちが主人公～

子どもたちに、「あなたたち一人一人が主人公です。あなたたちを輝かせるために先生達は全力で頑張ります。」と、学校としての覚悟を話しています。